

◆ 特別企画 ◆

伝統技術の生きる 左官の現場を訪ねて

時代のニーズが多様化するなかで、環境への負荷低減や身体に安全な自然由来の素材など、我々を取り巻く環境への関心が高くなるなかで左官の材料・工法にも注目が集まっている。単に自然素材が生み出す趣深い意匠性だけでなく、その機能性についても現代の建築に応用できるのではないかと、様々な取り組みがなされている。

今月号では、このほど自宅兼アトリエを伝統工法で設計した建築家・吉能雅人氏に左官仕上げと伝統工法の魅力についてお話を伺うほか、伝統工法の技を駆使した現場レポート、再生土を使用した古民家再生について紹介し、伝統技術の未来を見つめる (編集部)

インタビュー

負荷のない自然な状態へ身体を回帰させる木と土と火の家 8
—左官による伝統工法の自宅兼アトリエ—

建築設計：吉能雅人／左官施工：左官吉田

施工レポート

RC造建築物の外壁意匠に伝統の海鼠壁を活かす 12
—普濟寺宝物殿外壁工事—

設計監理：(株)社寺建築研究所／施工：(株)翠雲堂／左官施工：(株)あじま左官工芸

寄稿

再生土を使用した古民家の土壁 15

水村左官工事 水村辰也